

くもぬるれ中に

いふさ出はまき日影の冥詠りな

といふありあかに有邪を邪の冥よそと
あり武士のいつさと詠—古歌をひて詠向
をよそ。白之出羽郡ハ玉府よ—て秋田仙
水あめ武士は乃を往來志する事延喜式
彈子の糸に生理範海小詠る傳の定ある
よそ志り—三波山東ハさるふささりて
朝日を見る事まき—西ハ海よ—て日の入。
事又余あままき—玉信物ハ詠る—る附あや

—といふ奇林よあや—とちといふハ險阻
を見て驚侍るを古俗の詞をひてあや—と
いふありあや—とちハ思ふとちなとよめる詠
よ—て彼を對する詞ハ友あふ人と詠たり
險阻ハ驚まき—る事をあや—とちのむや
—の冥といふ云々もあや

一大師堂

三波山の月大師堂にあり貞觀年中慈覺
大師は西に自の形像を刻て建又本多寺
を兼創—あふと云傳—り堂の銀よ玉輪多